

安全チェックリスト <令和5年度版>

1. 大会・研修会等における安全管理

(1) 主催者

ア. 全般

- 安全管理組織は確立されているか(会長→大会委員長→審判長→審判→監督・選手)
- 専門の医療スタッフは配置されているか。

イ. 予防・回避

- 危険見積はなされているか。
- 大会要項に安全管理事項(保険の加入、安全上の遵守事項及び制限事項、感染症対策)が記載されているか。
- 自然環境の危険性(気温・湿度・WBGT等、台風、地震・津波、感染症等)を認識し、対応をとるとともに、必要な場合は、参加者に注意喚起しているか。(別紙「熱中症予防ガイドライン」参照)
- 施設・設備の危険性(試合場・練習場の広さ、空調設備の状況、床の状況、採光、受動喫煙、感染症対策としての換気等)を認識し、対処するとともに、参加者に注意喚起しているか。
- 安全器具等(危険表示、AED、担架、非常口等)を認識し、参加者に注意喚起しているか。
- 危険見積・情報収集等に基づき、施設の改善、大会組織の工夫、大会運営の工夫等の予防・回避の措置を講じているか。
- 指導者・選手に対する教育(自然環境の特性、施設の特性特に空調設備の有無による経口補水液飲用指導、危険箇所の認識徹底、最近の事故の状況、用具・体の手入れ、体調管理、受動喫煙、感染症対策等)はなされているか。
- 用具点検の態勢組織、不具合の場合の対応について認識が統一されるとともに、参加者に対して、是正の措置を講じているか。
- 用具の手入れ・施設の清掃について徹底し、不具合発生の防止、不具合・異常の発見、不具合状況に対応した適切な対応処置の措置について努力しているか。

ウ. 事故対応

- 事故発生時、災害時等の対応マニュアルは作成されているか
- 医療機関、消防、警察との連携協力はなされているか。
- 2次災害、パニックへの対処はなされているか。
- 事故者の関係者への通報はなされたか。

エ. 事故後対応

- 事故者の治療経過を確認しているか。
- 事故の分析を行い、改善策を推進しているか。

- 事故に関する広報はなされているか。
- 事故に関する法的措置は適切に行われているか。

(2) 指導者・監督

ア. 予防・回避

- 大会要項内安全管理事項（保険加入、安全上の遵守事項、制限事項、感染症対策）は遵守しているか。
- 自然環境の危険性（気温・湿度・WBGT等、台風、地震・津波、感染症）を認識し、対応策を講じているか。
- 施設・設備の危険性（清掃状況、危険表示、受動喫煙防止対策、感染症対策としての換気等）を認識し遵守、対応させているか。
- 施設の空調設備の状況や気象状況に応ずる経口補水液飲用の指示・確認はなされているか。
- 試合前後の練習等における他選手との接触等を認識し、選手に注意喚起しているか。
- 選手の体調及び精神状態に異常はないか。
- 選手の爪の手入れ等体の手入れを行わせているか。
- 用具の装着は、適切に行われているか。是正されているか。
- 選手の感染症対策実施状況を確認・是正しているか。
- 選手のスポーツ保険への加入、保険証、身分証明書の保持を確認したか。

イ. 事故対応

- 異常を予測した場合、大会主催者への申し出、選手への注意喚起及び回避処置を行ったか。
- 医療スタッフ、消防、警察等の派遣要請を行ったか。
- 緊急の場合は1次救命処置を行う。
- 医療スタッフ、医療機関、消防、警察に対する選手の既往症等の通報を行ったか。
- 家族等への第一報は行ったか。
- 事故者への同行と経過把握の処置を講じたか。

ウ. 事故後対応

- 事故者の治療経過を確認しているか。
- 事故の分析を行い、改善案を推進しているか。
- 事故に関する広報はなされているか。
- 事故に関する法的措置は適切に行われているか。

(3) 選手

ア. 予防・回避

- 大会要項内安全管理事項（保険加入、安全上の遵守・制限事項、感染症対策）を遵守しているか。
- 自然環境の危険性（気温・湿度・WBGT等、台風、地震・津波、感染症）を認識し、対応しているか。

- 施設・設備の危険性（危険表示、受動喫煙防止対策、感染症対策としての換気等）を確認し対応行動をとっているか。
- 施設の空調設備の状況や気象状況に応ずる経口補水液飲用はなされているか。
- 試合前後の練習等における他選手との接触防止等に注意した行動をとっているか。
- 飲食物に注意を払い、消化の悪い物や、体に害を及ぼすものを摂取していないか。
- 爪の手入れ等体の整備は万全か。
- 用具の手入れ、装着は正規に行っているか。
- 使用後の施設の清掃等施設の安全保持に留意しているか。
- 自己の体調を把握し、異常の場合は指導者・監督に申し出たか。
- スポーツ保険へ加入しているか。
- 保険証・身分証明書は保持したか。

イ. 事故対応

- 異常予測又は感知した場合、周囲の者に申し出たか。
- 医療スタッフ、医療機関、消防、警察に対し既往症等の通報を行ったか。
- 家族等連絡先を通報したか。

2. 平素の稽古・練習における安全管理

(1) 指導者・監督

ア. 全般

- 安全管理の責任は指導者・監督であることを認識しているか。

イ. 予防・回避

- 道場・教室・クラブにおける安全管理遵守事項を作成し、選手・生徒に徹底しているか。
- 選手・生徒をスポーツ安全保険に加入させているか。
- 自然環境の危険見積（気温・湿度・WBGT等、台風、地震・津波、感染症等）を行い、対応しているか。
- 施設・設備の危険見積（練習場の広さ、空調設備の状況、床の状況、採光、危険表示・AED等安全器具の設置、感染症対策としての換気等）を行い対処しているか。
- 施設・設備の安全器具（AED、担架、非常口、受動喫煙防止施策等）の設置を確認しているか。
- 選手に対する安全上の教育（自然環境の特性、施設の特性特に空調設備の有無による経口補水液飲用指示・確認、危険箇所の認識徹底、最近の事故の状況、用具や体の手入れ、体調管理、施設の清掃、受動喫煙防止施策、感染症対策等）を行っているか。
- 事故発生時の対応（医療機関・消防・警察、関係者への連絡）を準備しているか。
- 稽古直前の安全確保（床面状況等施設確認、用具点検、体の異常把握、装着状況点検）を講じているか。

○稽古中における安全確保（床面等施設状況確認、体調・精神状態の把握、用具装着状況、他選手との接触防止の注意喚起、危険行為の看破と禁止措置及び指導等）を行っているか。

ウ. 事故対応

- 対応マニュアル（審判・監督等当面の処置、医療スタッフの処置）はなされているか。
- 1次救命処置（胸骨圧迫、気道の確保、AEDの使用、心肺蘇生）の迅速な処置はなされたか。
- 医療機関、消防、警察への連携協力の処置は講じたか。
- 2次災害・パニック防止の処置、事故個所の表示と隔離の処置は講じたか。
- 事故者の保護者等関係者への通報は行ったか。
- 事故者への同行と経過把握の処置を講じたか。

エ. 事故後対応

- 事故者の治療経過を確認しているか。
- 事故の分析を行い、改善案を推進しているか。
- 事故に関する広報はなされているか。
- 事故に関する法的措置は適切に行われているか。

(2) 選手

ア. 予防・回避

- 道場・教室等の安全管理事項を遵守しているか。
- スポーツ保険に加入しているか。
- 保険証、身分証明書を保持しているか。
- 自然環境の危険性（気温・湿度・WBGT等、台風、地震・津波、感染症等）の認識と対応準備は行っているか。
- 施設・設備の危険性（危険表示、受動喫煙防止施策、感染症対策としての換気等）を確認し、定められたことを遵守しているか。
- 施設の空調設備の状況や気象状況に応ずる経口補水液飲用はなされているか。
- 練習等における他選手との接触防止等に注意しているか。
- 飲食物に注意を払い、消化の悪い物や、体に害を及ぼすものを摂取していないか。
- 爪の手入れ等体の整備は万全か。
- 用具の手入れ、装着は正規に行っているか。施設の清掃は行っているか。
- 感染症対策は遵守しているか。
- 自己の体調を把握し、異常の場合は指導者・監督に申し出たか。

イ. 事故対応

- 異常を予測又は感知した場合、周囲の者に申し出たか。
- 医療スタッフ、医療機関、消防、警察に対し既往症等を通報したか。
- 家族等連絡先を通報したか。